

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 5年 4月 14日

事業所名 こども発達支援 こるでい 保護者等数(児童数) 4 回収数 4 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3			1	・利用する日によって差がある。うちの子のように体幹が弱い子にとっては活動内容によってはせまく感じる日があるかもしれない。	・基本的に少人数での活動の為、スペースの確保は行っているが、必要に応じて体育館などのスペースを借りて行えるよう工夫も行っていく。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3				1	・こるでいの室内の様子を実際見る事ができないのでわからない。	・実際の活動や様子など見ることができよう工夫をスタッフ全体で考えて取り組んでいきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				1	・こるでいの室内の様子を実際見る事ができないのでわからない。	・実際の活動や様子など見ることができよう工夫をスタッフ全体で考えて取り組んでいきたい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	4				・日々へんかしていくニーズを連絡帳やLINE等で細かく共有してもらっている。		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4				・日々へんかしていくニーズを連絡帳やLINE等で細かく共有してもらっている。		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4				・日々変化していくニーズを連絡帳やLINE等で細かく共有してもらっている。		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	4				・日々変化していくニーズを連絡帳やLINE等で細かく共有してもらっている。		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	1				
保護者への	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3			1			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3				1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	3				1	・ペアトレーニングに関してだと児発よりリハビリで教わることが多い。	・行っていく必要がある。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					・毎日の送迎時にしっかりと伝達して下さっている。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	1				・こちらから声を掛けてやって頂くことが多いので申し訳なく思うことがあるので定期的にいついつと決まっていると有難い。	

説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	1	1	・コロナ禍なので致し方ないと思う。	・今後行っていけるよう検討中
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				・気になっている事が増えてきたりモニタリング後などお声掛けしてやって頂いている。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4				・お忙しい中、よくやって下さっている。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2	1		1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4				・楽しみにしているというよりは行かないといけないという認識が強いと思う。それでも、休みが続いて間が空いても行くの嫌と言うけど先生方の顔を見ると素直に行くのは心地いいと思っていると思います。 ・子どもが楽しめているかが一番大事でその点では入所当初に比べて何倍も本人が楽しめているのが伝わってきますし先生方も子どもの成長を楽しんで下さっているのがひしひしと伝わって来て満足しております。	
	23	事業所の支援に満足しているか	4				・大変満足しています。第二の家のように慣れ馴染んでいきます。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。